

## 安全データシート

## ヘプタン酸アリル

改訂日: 2024-05-09 版番号: 1

## 1. 化学品及び会社情報

## 製品識別子

製品名	: ヘプタン酸アリル
CB番号	: CB2366829
CAS	: 142-19-8
EINECS番号	: 205-527-1
同義語	: ヘプタン酸アリル

## 物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

関連する特定用途	: 香料
推奨されない用途	: なし

## 会社ID

会社名	: Chemicalbook
住所	: 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟
電話	: 400-158-6606

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

## 分類実施日

GHS改訂4版を使用

H25.9.19、政府向けGHS分類ガイダンス(H25.7版)を使用

## 物理化学的危険性

引火性液体 区分4

## 2.2 注意書きも含む GHSラベル要素

## 絵表示

GHS06	GHS09

## 注意喚起語

危険

## 危険有害性情報

H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

H301 + H311 飲み込んだ場合や皮膚に接触した場合は有毒。

H227 可燃性液体。

#### 注意書き

#### 安全対策

P280 保護手袋 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。

P273 環境への放出を避けること。

P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。

P210 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

#### 応急措置

P391 漏出物を回収すること。

P370 + P378 火災の場合：消火するために乾燥砂、粉末消火剤 (ドライケミカル) 又は耐アルコール性フォームを使用すること。

P302 + P352 + P312 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん (鹼) で洗うこと。気分が悪いときは医師に連絡すること。

P301 + P310 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。

#### 保管

P405 施錠して保管すること。

P403 換気の良い場所で保管すること。

#### 廃棄

P501 内容物 / 容器を承認された処理施設に廃棄すること。

## 2.3 他の危険有害性

なし

---

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 化学物質
化学特性(示性式、構造式 等)	: C10H18O2
分子量	: 170.25 g/mol
CAS番号	: 142-19-8
EC番号	: 205-527-1
化審法官報公示番号	: 2-759
安衛法官報公示番号	: -

---

## 4. 応急措置

### 4.1 必要な応急手当

#### 一般的アドバイス

応急措置担当者は自分が暴露しないよう、適切な防護を行う。この安全データシートを担当医に見せる。

#### 吸入した場合

吸入後は新鮮な空気を吸うこと。

#### 皮膚に付着した場合

皮膚に接触した場合: すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。直ちに医師を呼ぶ。

#### 眼に入った場合

眼に触れた後は多量の水ですすぐこと。コンタクトレンズをはずす。

#### 飲み込んだ場合

飲み込んだ場合は水を飲ませる(多くても2杯)。ただちに医師の診察を受けること。1時間以内に治療が受けられないという例外的な状況のみ、嘔吐させ(相手に完全に意識のある場合のみ)、活性炭(10%懸濁液に20~40g)を投与してできるだけ早く医師の診察を受ける。

### 4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

もっとも重要な既知の徴候と症状は、ラベル表示(項目2.2を参照)および/または項目11に記載されている

### 4.3 緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

データなし

---

## 5. 火災時の措置

### 5.1 消火剤

使ってはならない消火剤

本物質/混合物に対する消火剤の制限なし

適切な消火剤

泡 二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 粉末

### 5.2 特有の危険有害性

火災時に有害な燃焼ガスや蒸気を生じるおそれあり。

高熱で空気と反応して爆発性混合物を生じる

可燃性。

炭素酸化物

### 5.3 消防士へのアドバイス

自給式呼吸器がある場合のみ危険区域に留まってもよい。安全なゾーンまで離れるか適切な保護衣を着用して、皮膚に触れないようにすること。

### 5.4 詳細情報

容器を危険ゾーンから移動させて水で冷やすこと。消火水が、地上水または地下水のシステムを汚染しないようにする。

---

## 6. 漏出時の措置

### 6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

救急隊員以外への助言: 蒸気、エアゾールを吸入してはならない。触れないようにすること。十分な換気を確保する。熱や発火源から遠ざける。危険なエリアから避難し、緊急時手順に従い、専門家に相談のこと個人保護については項目8を参照する。

### 6.2 環境に対する注意事項

物質が排水施設に流れ込まないようにする。

### 6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

排水溝に蓋をすること。こぼれたら集めて結合させ、ポンプですくい取る。物質の制限があれば順守のこと(セクション7、10参照)液体吸収

剤(例. Chemizorb®)で処置すること。正しく廃棄すること。関係エリアを清掃のこと。

## 6.4 参照すべき他の項目

廃棄はセクション13を参照。

---

# 7. 取扱い及び保管上の注意

## 7.1 安全な取扱いのための予防措置

### 火災及び爆発の予防

炎、熱および発火源から遠ざける。静電気放電に対する予防措置を講ずること。

### 衛生対策

汚した衣類はただちに替えること。予防的な皮膚保護を講じること。本物質を取り扱った後は手と顔を洗うこと。注意事項は項目2.2を参照。

## 7.2 配合禁忌等を踏まえた保管条件

### 保管クラス

保管クラス (ドイツ) (TRGS 510): 6.1C: 可燃性、急性毒性カテゴリ3 / 毒性化合物または慢性効果を引き起こす化合物

### 保管条件

密閉のこと。換気のよい場所で保管する。鍵をかけておくか、資格のあるまたは認可された人のみが入り出できる場所に入れておく。

## 7.3 特定の最終用途

項目1.2に記載されている用途以外には、その他の特定の用途が定められていない

---

# 8. ばく露防止及び保護措置

## 8.1 管理濃度

### コンポーネント別作業環境測定パラメータ

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

## 8.2 曝露防止

### 適切な技術的管理

汚した衣類はただちに替えること。予防的な皮膚保護を講じること。本物質を取り扱った後は手と顔を洗うこと。

### 保護具

#### 眼 / 顔面の保護

NIOSH (US) または EN 166 (EU) などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた眼の保護具を使用する。保護眼鏡

#### 身体の保護

#### 保護衣

#### 呼吸用保護具

気化ガス/エアロゾル発生時に必要

次の規格に準拠しているフィルター式呼吸器保護具を推奨します。DIN EN 143、DIN 14387および使用済み呼吸器保護システムに関連する他の付属規格。

物質が排水施設に流れ込まないようにする。

## 9. 物理的及び化学的性質

### Information on basic physicochemical properties

形状	液体
色	無色
臭い	情報なし
臭いのしきい(閾)値	情報なし
pH	情報なし
1.5 mPa*s(20°C):GESTIS(2013)	
情報なし	
情報なし	
情報なし	
0.043 g/L (20°C):GESTIS(2013)	
0.885 g/cm³(20°C):GESTIS(2013)	
5.88:GESTIS(2013)	
0.27hPa(25°C):GESTIS(2013)	
情報なし	
情報なし	
情報なし	
82°C(密閉式):GESTIS(2013)	
210°C(室温):GESTIS(2013)	
情報なし	
<b>融点・凝固点</b>	
情報なし	
<b>沸点、初留点及び沸騰範囲</b>	
210°C(室温):GESTIS(2013)	
<b>引火点</b>	
82°C(密閉式):GESTIS(2013)	
<b>蒸発速度(酢酸ブチル=1)</b>	
情報なし	
<b>燃焼性(固体、気体)</b>	
情報なし	
<b>燃焼又は爆発範囲</b>	
情報なし	

## 蒸気圧

0.27hPa(25℃):GESTIS(2013)

## 蒸気密度

5.88:GESTIS(2013)

## 比重(相対密度)

0.885 g/cm<sup>3</sup>(20℃):GESTIS(2013)

## 溶解度

0.043 g/L (20℃):GESTIS(2013)

## n-オクタノール/水分配係数

情報なし

## 自然発火温度

情報なし

## 分解温度

情報なし

## 粘度(粘性率)

1.5 mPa\*s(20℃):GESTIS(2013)

---

## 10. 安定性及び反応性

### 10.1 反応性

高熱で空気と反応して爆発性混合物を生じる

### 10.2 化学的安定性

標準的な大気条件(室温)で化学的に安定。

### 10.3 危険有害反応可能性

データなし

### 10.4 避けるべき条件

強力な熱

### 10.5 混触危険物質

強酸化剤

### 10.6 危険有害な分解生成物

火災の場合:項目5を参照

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

#### 経口

データ不足のため分類できない。

#### 経皮

データ不足のため分類できない。

#### 吸入:ガス

GHSの定義における液体である。

#### 吸入:蒸気

データ不足のため分類できない。

#### 吸入:粉じん及びミスト

データ不足のため分類できない。

### 皮膚腐食性及び皮膚刺激性

データ不足のため分類できない。なお、ECHA (Access on December 2013)) には、ウサギを用いた4時間の半閉塞試験で、刺激性なしとの結果が報告されている。この情報はList外の情報源であるために分類に用いなかった。

### 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

データ不足のため分類できない。なお、ECHA (Access on December 2013)) には、ウサギを用いたOECDテストガイドライン405に準拠した試験で、刺激性なしとの結果が報告されている。この情報はList外の情報源であるために分類に用いなかった。

### 呼吸器感作性

呼吸器感作性:データ不足のため分類できない。

### 皮膚感作性

皮膚感作性:データ不足のため分類できない。なお、ECHA (Access on December 2013)) には、モルモットを用いたOECDテストガイドライン406に準拠した試験で陰性との結果が報告されている。この情報はList外の情報源であるために分類に用いなかった。

### 生殖細胞変異原性

データ不足のため分類できない。すなわち、in vivo、in vitroともにデータはない。なお、ECHA (Access on December 2014) には、細菌を用いる復帰突然変異試験で陰性の記載がある。この情報はList外の情報源であるために分類に用いなかった。

### 発がん性

データ不足のため分類できない。

### 生殖毒性

データ不足のため分類できない。なお、ラットを用いた経口経路(強制)での生殖毒性スクリーニング試験(OECD TG421)で、親動物毒性(雌雄で肝臓の肉眼的病変、雌で脾臓の腫大、雌で交配前及び妊娠期間中の体重増加)がみられる用量において生殖能、児動物に影響はみられない(ECHA (Access on December 2013))との情報がある。この情報はList外の情報源であるために分類に用いなかった。

### 特定標的臓器毒性(単回ばく露)

データ不足のため分類できない。

### 特定標的臓器毒性(反復ばく露)

JECFAの評価において、本物質はラット13週間混餌投与試験及びイヌ18ヶ月間混餌投与試験のNOAELが各々500 mg/kg/day以上及び25 mg/kg/day以上であり、本物質を含むアリルエステルを香料として摂取しても、ヒトで安全性の懸念はないと結論されている (JECFA TRS 868 (1997))。すなわち、ラットの知見に基づけば経口経路では区分外相当と考えられるが、他の経路での毒性情報がなく、データ不足のため分類できないとした。

### 吸引性呼吸器有害性

データ不足のため分類できない。

---

## 12. 環境影響情報

### 12.1 生態毒性

#### 魚毒性

止水式試験 LC50 - *Danio rerio* (ゼブラフィッシュ) - 0.117 mg/l - 96 h

(OECD 試験ガイドライン 203)

#### ミジンコ等の水生無脊

止水式試験 EC50 - *Daphnia magna* Straus (ダフニア・マグナ・ストラウス) -

#### 椎動物に対する毒性

0.89 mg/l - 48 h

(OECD 試験ガイドライン 202)

#### 藻類に対する毒性

止水式試験 ErC50 - *Desmodesmus subspicatus* (緑藻) - > 4.6 mg/l - 72 h

(OECD 試験ガイドライン 201)

止水式試験 最大無影響濃度 - *Desmodesmus subspicatus* (緑藻) - 0.255 mg/l

- 72 h

(OECD 試験ガイドライン 201)

### 12.2 残留性・分解性

#### 生分解性

嫌気性 - 曝露時間 28 d

結果: 81 % - 易分解性。

(OECD 試験ガイドライン 301F)

### 12.3 生体蓄積性

データなし

### 12.4 土壤中の移動性

データなし

### 12.5 PBT および vPvB の評価結果

化学物質安全性評価が必要ではない/行っていないため、PBT/vPvB評価データはない。

### 12.6 内分泌かく乱性

データなし



## 12.7 他の有害影響

データなし

非該当

オゾン層への有害性

---

## 13. 廃棄上の注意

### 13.1 廃棄物処理方法

製品

内容及び容器は、関連法規及び各自治体の条例等の規制に従い、産業廃棄物として適切に処理すること。

---

## 14. 輸送上の注意

### 14.1 国連番号

ADR/RID (陸上規制): 2810 IMDG (海上規制): 2810 IATA-DGR (航空規制): 2810

### 14.2 国連輸送名

IATA-DGR (航空規制): Toxic liquid, organic, n.o.s. (Allyl heptanoate)

IMDG (海上規制): TOXIC LIQUID, ORGANIC, N.O.S. (Allyl heptanoate)

ADR/RID (陸上規制): TOXIC LIQUID, ORGANIC, N.O.S. (アリルヘプタノエート)

### 14.3 輸送危険有害性クラス

ADR/RID (陸上規制): 6.1 IMDG (海上規制): 6.1 IATA-DGR (航空規制): 6.1

### 14.4 容器等級

ADR/RID (陸上規制): III IMDG (海上規制): III IATA-DGR (航空規制): III

### 14.5 環境危険有害性

該当

ADR/RID: 該当 IMDG 海洋汚染物質(該当・非該当): IATA-DGR (航空規制): 非該当

### 14.6 特別の安全対策

なし

### 14.7 混触危険物質

強酸化剤

---

## 15. 適用法令

化学物質審査規正法

優先評価化学物質

## 消防法

第4類引火性液体、第三石油類非水溶性液体

## 化審法

優先評価化学物質

---

## 16. その他の情報

### 略語と頭字語

TWA: 時間加重平均

STEL: 短期暴露限度

RID: 鉄道による危険物の国際運送に関する規則

LD50: 致死量 50%

LC50: 致死濃度 50%

IMDG: 国際海上危険物

IATA: 国際航空運送協会

EC50: 有効濃度 50%

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

### 参考文献

- 【1】労働安全衛生法 ウェブサイト <https://www.mhlw.go.jp>
- 【2】化学物質審査規制法（化審法） <https://www.env.go.jp>
- 【3】化学物質排出把握管理促進法（PRTR法） <https://www.chemicoco.env.go.jp>
- 【4】NITE化学物質総合情報提供システム（NITE-CHRIP） <https://www.nite.go.jp/>
- 【5】カメオケミカルズ公式サイト <http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple>
- 【6】ChemIDplus、ウェブサイト <http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp>
- 【7】ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト <https://echa.europa.eu/>
- 【8】eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイト <http://www.echemportal.org/echemportal/index?>  
<http://www.echemportal.org/echemportal/index?>  
pageID=0&request\_locale=en
- 【9】ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイト <http://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg>
- 【10】有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイト <http://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp>
- 【11】HSDB - 有害物質データバンク、ウェブサイト <https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm>
- 【12】IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト <http://www.iarc.fr/>
- 【13】IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイト <http://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home>
- 【14】Sigma-Aldrich、ウェブサイト <https://www.sigmaaldrich.com/>

### 免責事項:

本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本SDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。